

### 過去の南海トラフ地震とその記録

震 災	月 日	状 況
白 鳳 地 震	684年11月29日	建物の破壊、人畜の死傷多く、土佐の田畑12平方キロメートルが海となる。津波あり。 ※南海・東南海・東海3連動型とされる。
仁 和 地 震	887年8月26日	五畿七道大いに震う。近海津波来襲し、死傷者多し。
康 和 地 震	1099年2月16日	記述等なし。痕跡あり。
正 平 地 震	1361年8月3日	津波被害甚大。香美郡田村(南国市)の下庄正奥寺に高潮上がる。
慶 長 地 震	1605年2月3日	地震い大津波あり。死者5000人に上り、崎の浜、甲浦、阿波穴喰で浸死者続出。 ※南海・東南海・東海3連動型。
宝 永 地 震	1707年10月28日	有史時代最大の地震の潰家29000、死4900。津波は土佐にて20m余り。海辺の在家一所として残る方なし。高知では潮江、下知、江ノ口より、一宮、布師田、大津、介良、下田衣笠まで海となる。 ※南海・東南海・東海3連動型。
安政南海地震	1854年12月24日	地震、大津波で被害甚し。土佐、紀伊、阿波などで死者3000。土佐湾沿いの赤岡以西はすべて災害被る。 ※南海単独 前日に東南海東海地震有。
昭和南海地震	1946年12月21日	震害は四国、九州、近畿、中国、中部地方に及び、大津波来襲して全国で1330人の死者が出た。高知は震度5で午前4時19分に発震、地震後6波の津波あり。県下の死者670、不明9、傷者1836、家倒壊4834。 ※南海単独。

東日本大震災から10年が過ぎました。そう遠くない時期に起こることが予想されている南海トラフ

地震について、今一度歴史を確認してみましよう。

上記のとおり、南海トラフ地震は過去に何度も起きていた災害です。

起こる頻度に多少の幅はありますが100〜150年周期で起こるとされています。また、記述からわかる限りでは、津波が来襲し、被害も出ていることがわかります。このように、過去に幾度と地震が起こっており、今後も必ず起こることが予想される南海トラフ地震。残念ながらこの発生を防ぐことは不可能です。

しかし、過去の経験を活かし、同じような被害を受けないように準備することが大切です。

そして地震災害を防ぐことはできませんが、被害を減らす「減災」は行うことができます。

黒潮町では、今年度も木造住宅耐震に係る補助事業、家具転倒防止対策及び危険なブロック塀撤去等に係る補助事業、地区防災計画及び避難所運営マニュアル等の作成支援、自主防災組織への資機材整備補助事業など、関係機関と連携し、さまざまな対策を継続してまいります。

### 消防団員募集について

消防団は、火災や災害時などに自宅や職場から駆け付け、消火活動・救助活動を行う非常勤特別職の地方公務員です。

消防団の活動は消火だけではありません。地域における消防・防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守る重要な役割を担っています。

また、近年は、女性消防団への参加も増加しており、特に一人暮らし高齢者宅への防火訪問や、応急手当の普及指導などにおいて活躍しています。

消防団は、誰でも参加できる活動です。会社員の方、自営業の方、主婦の方など年齢・性別・職業問わず、色々な方が参加しています。

黒潮町においては、14の分団があります。消防団に入るには、お住まいの地域を管轄する分団、または左記のお問い合わせ先までご相談ください。



お問い合わせ

【本庁】情報防災課 消防防災係

☎ 43-2188

【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第1係

☎ 55-3113